



# カタバミ [片喰]

5本の樹

夏緑 / 多年草 / 地被類等 / 草本植物 / 在来種



**科名** カタバミ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや速い

カタバミ科のなかでカタバミと呼ばれるのは、花径8mmほどの黄色い花をつける基本種。日本各地に自生し、地表を這うように茎を広げハート形の3小葉をつける。夕方になると葉も花も閉じる(就眠運動)。このとき葉の片側が食べられたように見えるため片喰と呼ばれる。



## Memo

カタバミの葉で10円玉を磨くと、シュウ酸の作用でピカピカになる。子供たちに人気の野外観察。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花期					■■■■■							
	果実								■■■■■				
	紅葉												
	施肥	(不要)											
	剪定	(適宜)											

好みの環境					
日当たり	陽	○	○	陰	
土壌	乾	○	○	○	湿
寒さ	強	○			弱
暑さ	強	○			弱
潮風	強		○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○	○				

### ポイント

日当たりを好むが、水切れしないよう注意する。庭に限らず全国の畑、空き地、道端、石積などで黄色い花を咲かせている。外来のカタバミ類が増える中、在来のカタバミもたくましく生育している。

### 剪定

花後にできる細長い実は、熟すると弾けて、種子を散布させる術がある。繁殖させる場合は、そのままつけておくとよい。こぼれ種や分球により増えるので、数株植えておくと自然に繁殖する。

### 病虫害

病虫害は少ない。

呼べる蝶  ヤマトシジミ